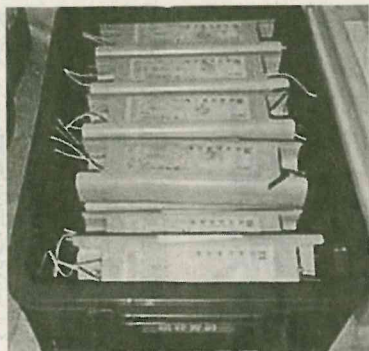


環境省は2017年度から、企業などで使われている毒性が強い高濃度のポリ塩化ビフェニール（PCB）を含む照明機器の処理を進めるため、発光ダイオード（LED）照明への買い替えを補助する。自治体によるPCB廃棄物の実態調査も支援。17年度予算案で関連費用に約7億円を計上した。

PCBを含む機器は01年施行の特別措置法で16年7月までの



PCBを含む蛍光灯安定器  
(環境省提供)

## LED照明買い替えで補助 環境省

廃棄・無害化が義務付けられた。だが処理は進まず、昨年の法改正で高濃度PCB廃棄物の処理期限を24年3月末へ先送りした。

PCBを含む古い機器の代表例が、蛍光灯照明の電流を制御する安定器。中小企業などでは現在も事務所や工場で使われている。LED照明を導入すれば撤去できるが、費用がネックとなっている。

国は19年度までの3年間、古い機器の撤去を条件にLED照明購入と取り付けの費用を半額補助する。環境省が委託した非営利法人への申請が必要となる。

PCB 有機塩素系化合物のポリ塩化ビフェニール。熱に強く、電気機器の絶縁油などに広く使われた。環境中で分解されにくく、人体に蓄積すると、さまざまな

## PCB機器 処理進まず

蛍光灯安定器が破損してPCBが漏れる事故はしばしば発生。これまで安定器200万個を処理したが、政府の推計では390万個が保管または使用され続けている。

特措法はPCBを含む機器について、毎年の使用状況や保管実態を自治体へ届けるよう所有者に義務付けている。だが機器にPCBが含まれているとは知らずに放置、廃棄されることも多く、実情を把握できていない。このため環境省は17年度から自治体へ専門家を派遣。相談窓口開設や、PCBを含む機器がどれだけ存在するかの調査を後押しする。

健康被害を引き起こす。食用油への混入で約1万4千人が全身の吹き出物や内臓疾患などの症状を訴えた「カネミ油症事件」を受け、1972年に製造が禁止された。